

指定管理業務モニタリング実績評価シート（令和6年度）

1 施設概要	
施設名	グリーンプラザみやま
所在地	山県市片原180番地6
指定管理者の名称	特定非営利活動法人コミュニティ美山
指定期間等	令和3年4月1日～令和7年3月31日 5年間 4年目
施設の設置目的	恵まれた自然環境の中で歴史や文化を体験し、野外活動及びレクリエーション活動を通して人と人との交流を図るふれあいの場としての利用に供する。
業務内容	施設及び設備の維持管理に関すること 使用の許可及び制限に関すること その他グリーンプラザみやまの管理上又は設置の目的を達成するための事業
施設概要 （施設内容）	宿泊施設 コテージ村 管理棟兼集会施設 1棟 宿泊棟 8棟 キャンプ場 管理棟 1棟 バンガロー 20棟 ロッジ 5棟 オートサイト サイト 6ヶ所 キャビン 2ヶ所
施設所管課の名称	まちづくり・企業支援課

2 管理実績		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
項目（単位）						
利用者数合計（人）		9,680	11,932	14,763	15,999	15,833
利用料金合計（円）		35,893,875	49,826,462	55,263,032	57,257,378	56,276,879
コテージ利用率（％）		23.2	33.0	33.1	37.8	36.6
キャンプ場利用率（％）		23.1	30.9	55.9	38.4	41.6
オートキャンプ場利用率（％）		25.4	24.7	40.2	34.7	24.4
総合利用率（％）		23.9	29.5	43	36.9	34.1

主な成果 （自主事業含む）	利用者数	目標	16,000人以上	→	実績	15,833人
	総合利用率	目標	35%以上	→	実績	34.1%
	利用料収入	目標	52,000,000円	→	実績	56,276,879円
	【主な自主事業実施による成果】 ・母の日・ハロウィン・クリスマス・年末等の記念日にプレゼント、また、冬場に鴨鍋サービスを行う。 ・コテージ1階リビング（全棟）にエアコン設置を行う。 ・夏祭り・イルミネーション（カラオケ大会）など利用者満足度の向上に寄与した。 ・キャンプレンタル用品をさらに充実させた。 ・コテージ村で3組のブライダル受入により内外からの反響があった。					

3 評価		
指標	評価	コメント
利用者の公平性の確保	B	関係法令及び協定書の遵守により利用者の公平性が確保されている。
事業・業務の履行状況	B	事業及び管理に関しては概ね計画どおり履行されている。
利用者満足度の向上度	B	利用者アンケートの結果スタッフ等の対応について概ね高い評価を得ている。
財務状況の適正性	B	物価高騰の影響で支出額が増加しているが財務状況は適正である。

評価の目安

【利用者の公平性の確保】【事業・業務の履行状況】【利用者満足度の向上度】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式1、2)における評価を基に次の基準により評価する。

- A(優): 高く評価できる。
- B(良): 実施している。適切である。
- C(可): 概ね実施している。一部改善を期待する。
- D(不可): 実施していない。改善を要する。

【財務状況の適正性】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式3)における内容について、次の基準により評価する。

- A: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選定委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」もしくは「重大な懸念がある」とされた場合
- ※ 客観的評価として以上の基準によりA・B・C・Dを判定し、選定委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

4 指定管理者候補者選定委員会による評価

講 評	・必ずしも「山県市民」を優先する必要はないものと考えられるが、市民利用を高めるための手法の一つとして検討されることも期する。 ・施設の老朽化はそのままサービスの低下や利用者の減少にもつながりかねないので、市と協力し適切な改修を行い利用者増につなげていただきたい。 ・各種イベント、体験、レンタル品の充実、結婚式の受入等、継続的にサービス向上に取り組んだ実績は評価できる。 ・結婚式が数件開催されており、これによる収益向上の検討が必要と考えられる。 ・北部地域活性化の拠点の1つでもあるため、特に地元の自治会や地域団体との連携を図り、地元での活性を願いたい。 ・市外からの訪問者が多いバスケット、みとか、ふれあいバザール、天湖森、伊自良湖等のほか、漁協や森林組合、テントサウナ等との連携による相乗効果の取組も期する。 ・業務スタッフの高齢化や地域性も加味しつつ、若者層の人員確保にも努めて将来的展望も必要かと案ずる。 ・責任者として運営を任せられる、複数の人材の育成を望む。 ・市外の人たちに、山県市(美山地域)の自然環境を知っていただき、ここに住んでみたいと思う人が1人でも増えるような役割を担う施設としても、その価値を高めていただきたい。
-----	---